

# 投資信託のリスクって！

## 投資信託には元本保証なし

投資信託は元本が保証されている金融商品ではなく、また、将来の利回り(分配金の額)を約束する金融商品ではありません。運用の状況によっては元本を割り込み、損失が発生するおそれがある金融商品です。もちろん、利益を得られる場合もありますが、投資信託の購入の際は、損失が発生するおそれがあることを十分理解することが必要です。

様々な要因により、投資信託の価格である基準価額は変動します。どのような要因によって基準価額が変動するのか、言い換えれば、投資信託がどのようなリスクを負っているかについては、各投資信託の目論見書で確認することができます。

## どのようなリスクを負っている？

投資信託は商品ごとに運用の対象や運用の手法が異なりますので、リスクの種類や大きさも異なりますが、投資信託が負うリスクとして、例えば以下のようなものが挙げられます。

**価格変動リスク**...投資信託が組み入れている株式などの価格が変動する可能性のことです。

**為替変動リスク**...為替が変動する可能性のことです。外貨建資産に投資する投資信託は基本的に外貨建資産の通貨と日本円の為替レートが変動することにより、基準価額が変動します。ただし、外貨建資産に投資するものの、「為替ヘッジ」を行うことにより、為替変動リスクを小さくしている投資信託もあります。

**デフォルトリスク**...投資信託が組み入れている債券などの利息や元本の支払いが遅れたり、滞ってしまったりする可能性のことです。

**金利変動リスク**...金利が変動する可能性のことです。債券などの価格と金利の関係上、金利が変動することにより債券価格も変動し、それによって債券を組み入れている投資信託の基準価額も変動します。

**流動性リスク**...投資信託に組み入れる金融商品を売買する際、その金融商品の市場規模や取引量が少なく、期待される価格で取引が行えない可能性のことです。

**特殊な運用手法に関するリスク**...特殊な運用手法を用いる投資信託において、その特殊な運用手法を用いることによって期待される投資成果が、市場動向などの影響により、得られない可能性のことです。

**一部解約による資金流出に伴うリスク**...投資家から大量の解約の申し出があった場合、解約代金を捻出するため、保有資産を意図しないタイミングで売却しなくてはならなかったり、取引量の増大により売買委託手数料がかさんだりする場合があります。このことにより、基準価額が影響を受ける可能性の事です。  
(上記のリスクはあくまで例示であり、投資信託がどのようなリスクを負うかについては投資信託ごとに違いがあります。)

### リスクと付き合い

投資信託が負うリスクの情報は、どのような要因によって投資信託の基準価額などが影響を受けるのかを示す重要なものです。投資信託を購入する際は、その投資信託がどのようなリスクを負っているのか、目論見書などで確認することが大切です。

投資信託はリスクのある金融商品ですが、取引の仕方によってそのリスクを小さくすることもできると考えられています。例えば、「購入する時期を分散すること」はその一手法です。